

ベターライフリフォームアドバイザー更新講習考査問題

1. 2020年のリフォームトレンドとこれからの方向性

- (1) 在宅勤務の困りごとに関するアンケート結果において回答数が一番多いものを選択してください。
- ア. 家族からの話しかけ
 - イ. 運動不足や座りっぱなしによる身体疲労
 - ウ. 仕事に適した部屋がない
 - エ. 住まいのなかの音
- (2) 施工業者を探した方法に関するアンケート結果において回答数が一番多いものを選択してください。
- ア. 折り込み広告
 - イ. 以前からつきあいがあった業者
 - ウ. 知人からの紹介
 - エ. インターネット
- (3) 攻略キーワードとしてあげられていないものを選択してください
- ア. OB顧客対応
 - イ. 生産性向上
 - ウ. 先進的事例
 - エ. 新規顧客開拓

2. 住まいるダイヤルの概要及びリフォームトラブルにならないために

- (1) リフォーム見積チェックサービスの主な相談内容として一番多いものを選択してください。
- ア. 単価や合計金額は適正か
 - イ. 工事内容や工事項目は適切か
 - ウ. 事業者の選定はどのようにすればよいか
 - エ. 事業者の信頼性について
- (2) 戸建住宅のリフォームの不具合事象として一番件数が多いものを選択してください。
- ア. 雨漏り
 - イ. 性能不足
 - ウ. はがれ
 - エ. 変形
- (3) 顧客とのコミュニケーションの問題としてあげられていないものを選択してください。
- ア. 顧客との頻繁な連絡
 - イ. 事業者の不適切な説明
 - ウ. 顧客の要望把握が不十分
 - エ. 現場担当者と上司等の対応に相違

3. リフォーム関係法令

(1) 間違っている法令を選択してください

- ア. 廃棄物処理法は、廃棄物の排出抑制と処理の適正化に関する事項を定めた法律
- イ. 消防法は、火災の予防等に向けた事項を定めた法律
- ウ. 建築基準法は、建築物の敷地、形態、構造や設備等に関する最高基準を定めた法律
- エ. 特定商取引法は、特定商取引を公正にし、購入者等が受ける事のある損害の防止を図る法律

(2) 改正後の建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律において間違っているものを選択してください。

- ア. 特定建築物（2,000 m²以上）は省エネ基準への適合義務が必要
- イ. 増改築が10 m²であれば、建築士から建築主への評価、説明は不要
- ウ. 説明義務の対象となる住宅において、建築士は省エネ基準に適合しない場合は省エネ性能確保のための措置が必要
- エ. 建築士への委託が2021年3月であれば説明義務対象外

(3) アスベストについて、間違っているものを選択してください

- ア. アスベスト含有建材において、発じん性が著しく高い作業はレベル1に分類される。
- イ. 戸建て住宅で使用されるアスベスト含有建材は、レベル3が多い
- ウ. 改正石綿障害予防規則において、建築物の事前調査は厚生労働大臣が定める講習を修了した者等に行わせることが義務となるのは令和5年10月～となる。
- エ. 改正石綿障害予防規則において、写真等による作業の実施状況の記録は2年間保存が義務となる。

4. リフォームの支援制度

(1) 国の施策として間違っているものを選択してください

- ア. 住生活基本計画は概ね5年毎に見直しされる。
- イ. グリーン住宅ポイントは新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的としている。
- ウ. 住生活をめぐる現状と課題において、世帯の状況は子育て世帯は減少、高齢者世帯は増加している。
- エ. 住宅ストック約5000万戸の断熱性能において、S55年基準に満たないものは32%ある。

(2) 長期優良住宅化リフォームの性能向上として該当しないものを選択してください

- ア. 耐震性
- イ. 遮音性
- ウ. 可変性
- エ. バリアフリー性

(3) グリーン住宅ポイントでポイント付与の対象とならない工事を選択してください。

- ア. 開口部の断熱改修におけるドア交換
- イ. 外壁の断熱改修
- ウ. エコ住宅設備の設置における太陽光発電システム
- エ. エコ住宅設備の設置における高断熱浴槽